

平成 28 年度 事業報告

〈総括〉

法人各事業所では、介護報酬の減収という厳しい状況の中、事業計画に沿って事業を推進すると共に、各種加算要件を満たすべく努め、経営状況を常に点検・把握し、その都度対策を立て収入維持に努めた。しかしながら、有効な入所待機者が激減しており、空床が出る期間もあり、ショートでは前年比-1.7パーセント減。3か所の通所は軒並み稼働が下がり、たんぽぽは前年比-9.3%、桜さんちの家は-30%、梅さんちの家は、-3.7%で終わっている。居宅介護支援事業所のみが前年度比+48%であったが、開設より3年目で利用者が揃ったことによると考える。

法人全体でみると前年比-4.7%となり、無駄の排除や価格の精査により経費節減に努めながら、利用者や職員の処遇を維持すべく努力の年であった。

法人全体の平成 28 年度の退職者は正職員 2 名、非常勤職員 4 名おり、対して入職者は正職員 2 名と、介護職員の人材確保に未だ奔走を続けている状態であり、継続して介護職員の人材確保・定着促進・育成に対する更なる注力が必要である。

〈平成 28 年度重点目標〉

1. 安定経営の確立

経営状況の点検・把握に努めると同時に、無駄の排除・価格の精査等により経費節減に努めた。

2. 人材育成の強化

法人内研修の一層の充実を図った。外部研修の積極的な受講に努めた。新規採用職員の研修プログラムの充実にも努めた。

3. 地域支援事業の検討と施行

情報収集に努め、社会福祉を巡る動向と地域の特性の把握に努めた。「おとなり介護」を通して、地域の高齢住民との信頼関係を強化し、介護予防の啓もう活動に努めた。

4. 建物・設備の老朽化対応

- 通所介護「梅さんちの家」の建替え準備を行った。土地の買取り、測量、登記、及び古家の解体撤去等。
- その他、修繕・買い替え等以下の通り。

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひかり苑拠点／栄養科マルチシェフブレンダー買換え ・ひかり苑拠点／洗濯室照明 LED 化工事
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひかり苑拠点／NS.室オートクレーブ買換え ・ひかり苑拠点／ロビー照明 LED 化工事 ・ひかり苑拠点／ホーム洗面化粧台修理
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・梅さんちの家／風見邸解体撤去工事 ・ひかり苑拠点／2F 浴槽モーターバルブ交換工事 ・ひかり苑拠点／洗濯室内乾燥機モーターベアリング交換工事
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体／学習室改修工事・消防用設備工事 ・法人全体／学習室スタッキングチェア購入 ・法人全体／学習室防災ロールスクリーン購入
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひかり苑拠点／屋上キュービクル非常用自家発電装置蓄電池交換 ・ひかり苑拠点／高圧電気設備内高圧負荷開閉器 4 台交換 ・ひかり苑拠点／エアコン室外機内インバータ圧縮機交換工事 ・ひかり苑拠点／給湯器の交換工事 ・ひかり苑拠点／男子ロッカー室、Ns.室、浴室入口引戸修理
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体／介護請求ソフト更新 ・梅さんちの家／給湯器交換工事 ・ひかり苑拠点／3F 居室エアコン室内・外機交換
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひかり苑拠点／栄養科スチームコンベクション交換
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひかり苑拠点／エレベーター巻き上げギヤオイル取り換え、インターホン電源装置交換工事 ・ひかり苑拠点／居宅介護事業所トイレ等引戸修理
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひかり苑拠点／厨房一槽シンク交換工事

〈法人運営〉

1. 理事会

理 事 定数 6 名
 監 事 定数 2 名

◎理事会の主な審議事項

〈平成 28 年 5 月 18 日（水）〉

- ①平成 27 年度事業報告
- ②平成 27 年度決算報告
- ③平成 27 年度監事監査報告

④資金移動・リース契約・学習室改修の件

平成28年10月28日（金）

①デイホームたんぼぼの提供時間の変更と運営規程変更について

②桜さんちの家の提供時間の変更と運営規程変更について

③梅さんちの家の運営規程変更について

平成28年12月9日（金）

①理事長の選任及び職務代行順位（2名）の決定

②社会福祉法人ゆうゆう会定款変更について

③評議員選任・解任委員会の運営に関する規程（案）について

④評議員選任・解任委員の選任

⑤評議員選任・解任委員会に提案する「次期評議員候補者」の選任

⑥補正予算（案）について

平成29年2月1日（水）

①平成28年10月18日の指導監査結果報告

②リネン・給食委託業者の今年度継続について

③本部の定期預金の金額及び名目変更について

④梅さんちの家建替え中の事業継続方法について

平成29年3月22日（水）

①平成29年度事業計画（案）について

②平成29年度予算（案）について

③就業規則の改定について

④ゆうゆう会定款細則（案）について

⑤「梅さんちの家」の建築設計・監理業務委託契約書の件

2. 評議員会

評議員 定数13名

◎評議員会を年3回開催（主な審議事項）

平成28年 5月18日（水）

①平成27年度事業報告

②平成27年度決算報告

③平成27年度監事監査報告

④資金移動・リース契約・学習室改修について

平成28年11月30日（水）

①理事・監事の選任について

②定款変更について

③補正予算（案）について

平成29年3月22日（水）

- ①平成29年度事業計画（案）について
- ②平成29年度予算（案）について
- ③就業規則の改定について
- ④「梅さんちの家」の建築計画・監理業務委託契約書の件

〈各事業所報告〉

【本部】

1. 事務局

- 法人としてのキャリアアップを制度化し、就業規則の改定を行った。
- 新会計基準の財務会計管理の適確な運用に努めた。
- 事務の効率化とリスクの軽減のため、順次全事業所の利用者支払いを銀行引き落としに変更した。現在、通所「桜さんちの家」利用者、「特養ホーム」入居者に対応。今後ショート利用者、たんぼぼ利用者にも拡大予定。
- 外部研修・内部研修の立案・企画を前年度末に立て、計画的に行なった。
- 給与ソフトのバージョンアップ。
- 介護保険請求伝送システムを光回線に変更。
- 町会の方々の集会や家族の面会用に使用可能なよう、学習室の改装を行った。
- 改正社会福祉法人法への対応（理事・評議員の変更、定款変更等）を速やかに行なった。
- 地域住民と広く交流を持ち、広報に努めた。
- 特養ホーム家族向け「ゆうゆう通信」夏号、冬号発行
地域住民向け「おとなり通信」2月発行

2. 職員の健康管理

健康診断	新入職員採用時健康診断
	定期健康診断 夜勤有り職員5月、11月、夜勤なし職員5月
	健康診断結果の報告

3. 防災管理・防災計画

- 防災管理者が中心となり、職員の防災に対する意識・知識の向上に努めたが、教育が不十分であった。
- 備蓄品点検／ひかり苑拠点・町会用共 平成29年1月16日
- 備蓄品補充／町会用 平成28年6月13日 63,045円（町内会のための非常用）
- 避難・夜間想定訓練／平成28年12月20日 夜間22時頃、出火元1F調理室を想定
- 総合避難訓練／平成29年3月29日、出火元1Fデイホームたんぼぼ浴室を想定

4. 地域活動

□自治会や地域の方々に、定期的に会場場所を提供した。

□社協ふれあい広場 10月26日(日) 10:00~15:00

於：鳩ヶ谷庁舎来庁者用駐車場「地域防災・医療相談等」

□地域のニーズに気付き応えられるよう、地域住民の情報収集・法人の広報に努めた。

□川口社協鳩ヶ谷支部独居高齢者昼食会の企画、場所・食事の提供を行なった。

12月4日(日) 9:00~ 於：ひかり苑内 デイホームたんぼぼ

□「おとなり介護 2016」

地域の高齢者の方々向けの介護予防教室を3ヶ月毎に開催した。

第1回 11月9日(水) 14:00~16:00

『あなたは「助けて!」が言えますか?』

第2回 2月22日(水) 14:00~16:00

『認知症とは?まさか家族が?!』&認知症予防体操

【施設部門】特別養護老人ホーム、ショートステイ

①将来予測される人材不足への対応や、業務効率アップのため、2F3Fの両方に対応できる職員の養成に努めた。

②季節の全体行事だけでなく、ラジオ体操や口腔体操、日常生活でのレクリエーション開催に努めた。

③ケーキバイキング、すし職人による握り寿司の提供等、毎月2回以上、行事食を取り入れた。

③外部研修参加職員が、スタッフ会議で内容を発表する機会を作った。

④研修実績

□OJT

褥瘡予防研修

感染症予防研修

看取り研修

事故防止研修

虐待防止研修

身体拘束廃止研修

食中毒予防研修

ノロ・インフルエンザ予防研修

□外部研修

社会福祉援助技術基礎研修、ターミナルケア研修、スーパービジョン研修、プレゼンテーション研修、認知症専門研修、介護人間力向上研修、腰痛予防研修、コミュニケーション向上研修、摂食嚥下リハビリテーション初級研修、

ストレスケア研修、認知症介護基礎研修、口腔ケア研修、
アンガーマネジメント研修、人材育成研修、採用力アップ研修

特別養護老人ホーム・ショートステイ 平成 28 年度行事

- ◎誕生会 毎月 1 回
- 花見外出行事
- 母の日ケーキバイキング
- 父の日を祝う会
- 七夕行事
- 納涼祭
- 長寿会
- 紅葉外出行事
- クリスマス会
- クリスマスミニコンサート
- 正月獅子舞
- 節分行事
- ひな祭り行事

委員会

〈介護部〉

- 事故防止委員会
事故簿、インシデントリポートの上がった件につき、検証を行い、統計を取り、再発防止のためのモニタリングを行い、事故防止に努めた。
 - ・事故件数／106 件
 - ・ヒヤリハット件数／27 件
 - ・県、市への報告件数／4 件
- 身体拘束委員会
身体拘束の排除と虐待につながる介護がないか、検証をした。職員の言葉遣いや入居者に対する態度などを中心に取り組んだ。
- 排泄委員会
入居者個々にあった排泄介助時間の検証や個々に合ったオムツの種類等の検証等を行い、快適・安心を追求した。
- 育成委員会
育成担当職員を中心に、新入職員の育成の充実を図った。
- 入浴委員会
スムーズかつ快適な入浴を目指し、業務の改善を行った。また、浴室内の機器の点検や物品の補充等を定期的に行った。
- リクレ委員会
毎月の誕生会の開催及び、月に 1 度の行事の計画、日々の体操やレクリエーションの計画を行った。
- スタッフ会議
業務の改善、入居者・職員の処遇の改善に取り組んだ。
- 給食委員会
利用者の嗜好調査、食器類等のチェック、行事食の企画等

〈看護部〉

○感染症委員会

定例・緊急委員会、年4回開催。

○褥瘡委員会

定例褥瘡予防委員会を、年4回開催。

入居者の皮膚の状態を確認し、エアマット・低反発・高反発マットの使用管理、ハイリスク者の褥瘡対策を立て、評価し、予防に努めた。

平成 28 年度入居者数 (54 床)

月	人数平均/月	利用率
4月	51名	98%
5月	52名	97%
6月	51名	95%
7月	50名	94%
8月	52名	96%
9月	52名	98%
10月	48名	90%
11月	49名	92%
12月	52名	97%
1月	53名	99%
2月	53名	99%
3月	51名	96%
平均	51名	95%

平成 28 年度入退所等

入所相談件数/52件
入退所件数/16件
入所判定委員会/14回
入院者数/19名
平均入院日数23.6日
看取り件数/10名

平成 28 年度 ショートステイ利用者数稼働

短期	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	利用日数/延/月(日)	利用者数/日/(人)	稼働日数
4月	0	4	12	14	26	10	33	99	3.3	30
5月	0	7	20	10	49	5	34	125	4.0	31
6月	0	6	5	19	56	15	18	119	4.0	30
7月	0	6	0	16	62	52	17	153	4.9	31
8月	0	7	0	20	68	32	31	158	5.1	31
9月	0	6	0	19	81	2	25	133	4.4	30
10月	0	6	0	19	75	12	29	141	4.5	31
11月	0	6	0	23	43	37	8	117	3.9	30
12月	0	7	0	20	62	39	34	162	5.2	31
1月	0	9	0	15	60	58	34	176	5.7	31
2月	0	6	0	21	34	52	31	144	5.1	28
3月	0	6	4	11	38	63	18	140	4.5	31
計	0	76	41	207	654	377	312	1,667	4.6	365

稼働率 76%

【在宅部】デイサービス たんぽぽ・桜さんちの家・梅さんちの家

□稼働率の安定

在宅部会議を月に1回開催し、稼働率の把握、新規利用者獲得に努めたが、3事業所とも計画に届かなかった。従来の利用者が入所施設に次々と入所する、また、体調を崩し入院するなどが続く中、新規利用者の拡大ができず、登録者数が徐々に減少してきたことが原因である。

□利用者満足の向上

利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう、「自立支援」「尊厳の保持」を基本にサービスを提供した。たんぽぽ・桜さんちの家では時間を5-7から7-9に変更し、個別ニーズに沿った対応に努めた。

□職員の資質向上

〈OJT〉

たんぽぽ : 事故防止研修、感染症予防研修、個人情報保護研修、高齢者虐待防止研修、緊急災害対策研修

桜さんちの家 : 事故防止研修(送迎・入浴)、感染症予防研修、高齢者虐待防止研修

梅さんちの家 : 事故防止研修、緊急災害対策研修、緊急対応研修、入浴事故防止研修、高齢者虐待防止研修、感染症予防研修、送迎研修

〈外部研修〉

たんぽぽ : ボランティア担当新任研修、防火・防災管理新規研修、レクリエーション研修

桜さんちの家 : 感染症基礎研修、防火・防災管理新規研修、高齢者虐待防止研修

梅さんちの家 : 感染症基礎研修

□サービスの充実

レクリエーション充実の目的のため、3事業所内で、職員の交換研修を行い、自事業所へ持ち帰り、レクリエーションや集団リハビリに生かし、サービスの充実に努めた。

□地域への展開

近隣のボランティアの積極的な活用を通して、利用者と地域住民とのふれあいに努めた。舞踊ボランティア、カラオケボランティア、畑仕事、散歩の付き添いボランティア等。その他；

桜さんちの家 : 平成28年12月22日、地域住民の方々対象の「もちつき大会」開催
運営推進会議／平成28年10月7日、平成29年3月3日

梅さんちの家 : 運営推進会議／平成28年10月19日、平成29年3月10日

- * その他、全事業所、要望のある方にはどなたにも、機能維持訓練やマッサージを無料で提供した。施術の合間、コミュニケーションに努め、全身の活性化に努めた。
- * 「梅さんちの家」については、隣接地が売りに出された為購入し、年度内建替えを予定していたが、売り主の都合が延び、建て替えは平成29年度に延期となった。建替え中の「梅さんちの家」の事業継続方法として、利用者を「桜さんちの家」「デイホームたんぽぽ

ぼ」に一時的に移動することとなり、平成 29 年度 3 月 31 日付けで「梅さんちの家」を一時休止している。平成 29 年度内に再開予定。

「デイホームたんぽぽ」「桜さんちの家」「梅さんちの家」行事等

- 4 月 お花見
- 5 月 しょうぶ湯、母の日の祝い
- 6 月 父の日の祝い
- 7 月 七夕祭り
- 8 月 夏祭り
- 9 月 お月見団子作り、長寿を祝う会
- 10 月 自然散策、ハロウィン
- 11 月 紅葉狩り、ゆず湯
- 12 月 クリスマス
- 1 月 初詣、獅子舞鑑賞、書初め、絵馬作り
- 2 月 節分豆まき
- 3 月 ひな祭り

平成 28 年度 デイホームたんぽぽ稼働

年 月	介護	支援	合計人数	人数平均%	Max に対しての%
平成 28 年 4 月	399	19	418	69.7%	26%
5 月	369	19	388	64.7%	24%
6 月	353	18	371	61.8%	25%
7 月	356	20	376	62.7%	26%
8 月	375	18	393	65.5%	26%
9 月	366	19	385	64.2%	26%
10 月	369	17	386	64.3%	26%
11 月	362	20	382	63.7%	26%
12 月	388	27	415	69.2%	27%
平成 29 年 1 月	353	18	371	61.8%	27%
2 月	367	17	384	64.0%	31%
3 月	443	20	463	77.2%	33%
合計	4,500	232	4,732	65.7%	27%

平成 28 年度 「桜さんちの家」稼働

年 月	介護	支援	合計人数	人数平均%	Max に対しての%
平成 28 年 4 月	219	0	219	69%	32%
5 月	214	0	214	71%	36%
6 月	203	0	203	61%	28%
7 月	180	0	180	57%	23%
8 月	202	0	202	58%	29%
9 月	193	0	193	58%	28%
10 月	174	0	174	55%	23%
11 月	186	0	186	56%	26%
12 月	187	0	187	56%	24%
平成 29 年 1 月	179	0	179	56%	26%
2 月	162	0	162	54%	22%
3 月	181	0	181	52%	23%
合計／平均	2,280	0	2,280	59%	27%

平成 28 年度 「梅さんちの家」稼働

年 月	介護	支援	合計人数	人数平均%	Max に対しての%
平成 28 年 4 月	157	35	192	91%	29%
5 月	170	36	206	93%	30%
6 月	150	42	192	87%	27%
7 月	134	30	164	78%	21%
8 月	182	27	209	81%	24%
9 月	155	27	182	82%	27%
10 月	167	18	185	85%	34%
11 月	171	21	192	87%	34%
12 月	163	25	188	85%	32%
平成 29 年 1 月	149	22	171	85%	33%
2 月	174	6	180	90%	40%
3 月	188	11	199	86%	40%
合計	1,960	300	2,260	86%	31%

居宅介護支援事業所ひかり苑

開設3年を迎え、件数が充実してきた中、継続して住み慣れた自宅でその人らしい生活が、要介護の状態になっても続けられるよう、利用者や家族の意向を聞き取り心身の状況を確認しながら、その方に応じた支援を心掛けた。また、グループに病院を持つ特性から、退院して自宅に戻るケースへの対応や終末医療への対応など、地域包括ケア病棟や在宅医療部との連携に努めた。

保険者、医療機関、地域包括支援センター、各サービス提供事業所や施設等と連絡を取り合うことで、各種のサービスが、効果的に提供されるよう配慮した。

請求実績としては、ほぼ計画通り。

□ケアマネジメントの充実

- ・利用者、家族との信頼関係を構築することに努めた。
- ・アセスメント、サービス担当者会議、モニタリング、再アセスメントを的確に実施し、自立支援の理念に沿った介護計画を作成した。

□関係者との連携強化

他職種との連携、共同の強化を図った。

□地域ケア会議への参加

地域の協力体制を構築するため、会議への参加に努めた。

外部会議出席 10回

□専門職としての資質の向上

外部研修 10回

内部会議 6回

*その他

新規契約者／36人、契約終了者数／22人

管理者変更／平成28年6月届出

平成 28 年度事業報告

社会福祉法人ゆうゆう会

